



- に 人間性豊かで
- い 命を大切にし
- ぬ ぬくもいあふれる心と
- ま 学びの力をもつ子ども

目標達成 ～充実の宿泊学習～

6月9日(水)・10日(木)の2日間、一関市祭時の「健康の森」で5・6年生5名が宿泊学習を行いました。両日も天気良好で、これ以上ないほどの晴天の下、元気いっぱい活動してきました。

この宿泊学習のテーマは『思いやり ～5人で協力して絆を深めよう～』です。思いやり・協力・助け合い・チャレンジをキーワードにして、目標達成に向け活動しました。それぞれの活動ごとに担当者(児童)を決め、進行や約束の確認など、一人一人が責任をもって進めました。なるべく教職員の手を借りずに進めることができ、子供たちは自信を深めていました。

活動の様子を見ていて感心したのは、2日間を通して、お互いに声をかけ合いながら活動を進めていたことです。沢遊びでは「やってみようよ」「勇氣出して」、野外炊事では「足りないものない?」「〇〇手伝う?」「ゆっくりでいいよ」、ウォークラリーでは「足もと大丈夫?」など。声をかけ助け合いながら活動することで、互いの思いやりを感じていたようです。ちょっとした失敗もありましたが、声かけのおかげで皆のびのびと活動しました。もちろん、全員一致で目標は達成。すばらしい天気と雄大な自然の中で、互いの絆を深めることができた2日間となりました。

「子供たちが選んだ思い出の活動 ベスト3」



第1位「沢遊び」

水ははんばなく冷たかったのですが、あふれるマイナスイオンとアドベンチャー感覚が◎。



第2位「野外炊事」

慣れない手つきではありましたが、そこは互いの声かけでフォロー。「力を合わせて」の表現がピッタリ。



第3位「ウォークラリー」

未知の山中で、体力と知力を十分に発揮しました。なかなか意見が合わないときもありましたが…。



どきどき・ワクワク入所式。



ベッドメイキング。寝床をしっかり整えます。



セミの声を聞きながら午後に向けて腹ごしらえ。



チャレンジ！水に向かってジャンプ！！



みんなで一緒にザッパーン。気持ちいい！



みんなで記念撮影。なぜ、軽トラの荷台？



みんなで作ったカレーライスは、う・マーベラス！



神聖な火を囲みダンス・ダンス・ファイヤーダンス。



2日目も朝から元気いっぱい。食欲も十分です。



山の中、地図を片手にナビゲートするのは啓介さん。



退所式。楽しかった2日間。下山は名残惜しい。



大自然をバックに、ハイ、チーजू。

- 【啓介さん】ウォークラリーが楽しかった。迷ったけど、論議しながら問題を解いたのがよかった。
- 【龍夜さん】沢遊びで、水に飛び込んだり、沢を滑ったり、水かけをやったりしたのが楽しかった。
- 【楓奈さん】沢遊びで、サンショウウオを探したり、飛び込んだり水かけしたりしたのが楽しかった。
- 【翔司さん】野外炊事で、みんなで協力して作ったのがよかった。かまどの仕事が楽しかった。
- 【聖愛さん】沢遊びで、最後の10分くらい、みんなと水かけをして遊んだのが楽しかった。

アイガモの放鳥に行ってきました

6月3日(木)に、藤沢で有機農業を行っている三浦克男さんの田んぼで、1・2年生12名がアイガモの放鳥に行ってきました。三浦さんの説明を聞いた後に、いよいよ放鳥。最初はおっかなびっくりさわっていた子供たちでしたが、その愛らしさに瞬く間に感情移入し、放すときは名前を呼びながら田んぼに送り出していました。

このアイガモの放鳥について、三浦さんご夫婦には10年以上お世話になっているとのこと。カモの様子とともに、1・2年生児童の活動の様子も目を細めてみてもらっしやいました。カモも、稲も子供たちもすくすくと成長してほしいとのことでした。

※ 当日は、岩手日報・岩手日日・一関ケーブルテレビの各社が取材に来られました。



「ピーちゃん」に託す豊作
新沼小 2年生 アイガモ農法を体験

【一問】 藤沢市 新沼小(大原)の2年生児童が、アイガモ農法を体験している。水田にアイガモを放し、稲の成長を助ける。水田にアイガモを放す様子。水田にアイガモを放す様子。水田にアイガモを放す様子。

水田を泳ぐアイガモの姿に歓声を上げる児童

マガモさん頼んだよ
水田にひな放鳥
藤沢市 新沼小児童

↑【岩手日日 6月4日】
←【岩手日報 6月4日】